

湛水直播管理情報(第2号)

～湛水土中直播(カルパー)～

平成30年4月27日
アルプス農協管内農業技術者協議会

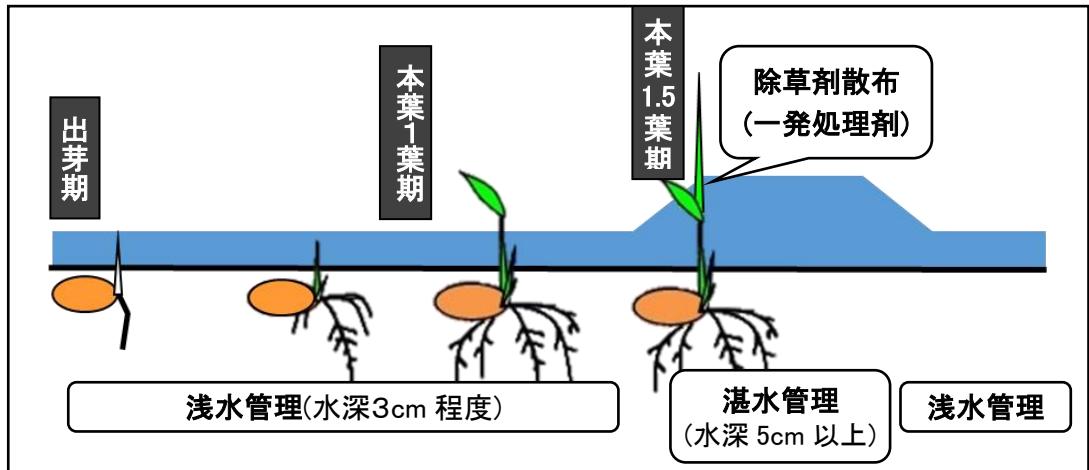
的確な水管理と適期の栽培管理で、苗立ちと初期生育を確保しましょう！

1. 出芽期以降の水管理

- 出芽期以降は、水深3cm程度の浅水管理を行い、分けつの発生を促しましょう。
- 浅水管理の際の入水は、朝または夕方に短時間で行い、日中は止水としましょう。
- 除草剤(一発処理剤)を使用する場合、散布後5日間は水深5cm以上を保ち、その後は浅水管理としてください。

※深水にしておくと、藻が多発したり、稻が軟弱徒長になり、苗立ちに影響するので、注意しましょう！

【出芽期以降の水管理のイメージ】



- 藻や表層はく離が発生した場合は、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。

2 初期害虫の防除

- 移植と違い苗箱施薬による防除を行わないため、近年、イネミズゾウムシ等の初期害虫の発生が目立つ圃場(特に直播の連作圃場)がみられます。発生状況等に応じ、防除を実施しましょう。

＜防除の目安と防除薬剤（注：5月下旬～6月上旬に以下の頭数以上が見られたら防除を実施）＞

対象害虫	防除の目安	薬剤名	処理量	使用上の注意点
イネミズゾウムシ	成虫数 3.0頭/10株	トレボン 粒剤	2~3kg/10a	・湛水状態(3~5cm)で均一に散布する。 ・散布後、少なくとも3~4日間は湛水状態を保つ(落水、かけ流しはしない)。
イネドロオイムシ	成虫数 0.5頭/10株	トレボン 粉剤DL	3kg/10a	・前年多発した圃場等では発生状況を必ず確認する。 ・幼虫の食害が見られたら、防除の目安を参考に防除を行う。



イネミズゾウムシと食痕

3 溝掘りの実施

- 入水と落水をスムーズにし、中干しの効果を高めるため、6月上旬までに溝掘りを実施しましょう。
- 作溝は10~15条に1本の間隔を目安に行いましょう。また、播種機でできた溝の手直しや連結を確実に行いましょう。

＜溝掘りの効果＞

- ①短時間で田んぼ全体の水が落とせる。
- ②水の走りが良くなる。
- ③中干しの効果を高め、稻の根を健全にする。



4 除草剤散布(雑草が残った場合)

- 一発処理剤の散布後も雑草が残っている場合は、雑草の種類や発生状況に応じて、中・後期除草剤を散布しましょう。



発生草種	除草剤名	使用時期	10a当たり散布量	使用上の注意点
ノビエ	クリンチャーワークス 1キロ粒剤	播種後10日～ノビエ3葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.0kg	・5cm程度の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後に多量の降雨が予想される場合は使用を避ける。
		播種後25日～ノビエ4葉期 (ただし、収穫30日前まで)	1.5kg	
ノビエ、マツバイ ホタルイ 他	クリンチャーワークス 1キロ粒剤	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫30日前まで)	100ml (希釈水量25～100l)	・雑草の茎葉に確実に付着するよう、散布する。 ・晴天日を選んで散布する。 ・展着剤を加用する。
ノビエ、マツバイ ホタルイ 他	アクシズMX 1キロ粒剤	イネ1.5葉期～ノビエ4葉期 (ただし、収穫45日前まで)	1.0kg	・5cm以上の深水で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。 ・散布後多量の降雨が予想される場合、使用を避ける。 ・水持ちの悪い水田、畦畔から漏水が多い水田では使用を避ける。
ノビエ、マツバイ ホタルイ 他	クリンチャーワークス ME液剤	播種後10日～ノビエ5葉期 (ただし、収穫50日前まで)	1,000ml (希釈水量70～100l)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。 ・展着剤は加用しない。
マツバイ、ホタルイ、 ミズガヤツリ 他	バサグラン液剤	播種後35～50日 (ただし、収穫50日前まで)	500～700ml (希釈水量70～100l)	・落水状態で散布し、散布後3～4日間は入水、落水をしない。 ・散布後に晴天が続くような日を選んで散布する。

※農薬は、ラベルの内容を確認し、「安全使用基準」をしっかりと守って使用しましょう！

«湛水直播管理情報(第3号)は、6月1日頃発行の予定です»